

## 2013年度新入生アンケート調査結果報告書

法政大学への満足度は72.9% (前年比5.0ポイント増加)

入学学部への満足度は67.5% (前年比4.3ポイント増加)

約7割の学生が「学習環境が充実」していると回答

大学在学中の目標では「将来の仕事に役立つ知識を身につける」が3年連続トップ

「法政大学を勧めたい」と回答した学生は57.4% (前年比4.9ポイント増加)

実施時期：2013年6～7月 対象：2013年度新入生（学部） 有効回答数：5175件（回収率：81.9%）

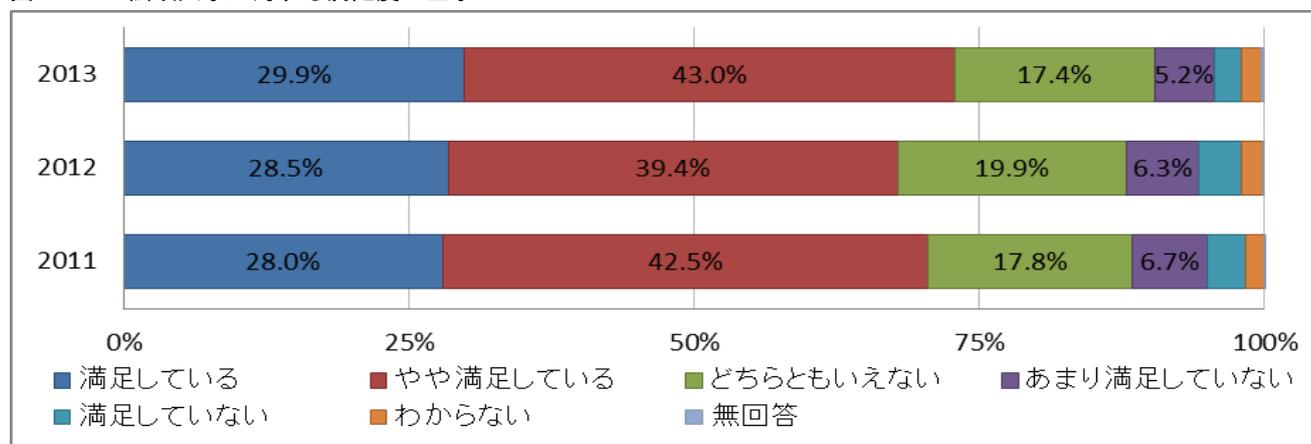
### 1 調査結果

#### 1.1 法政大学および入学学部に対する満足度

図1.1.1および図1.1.2は、「現時点で、法政大学および入学学部に対してどの程度満足していますか」との質問に対する回答結果です。

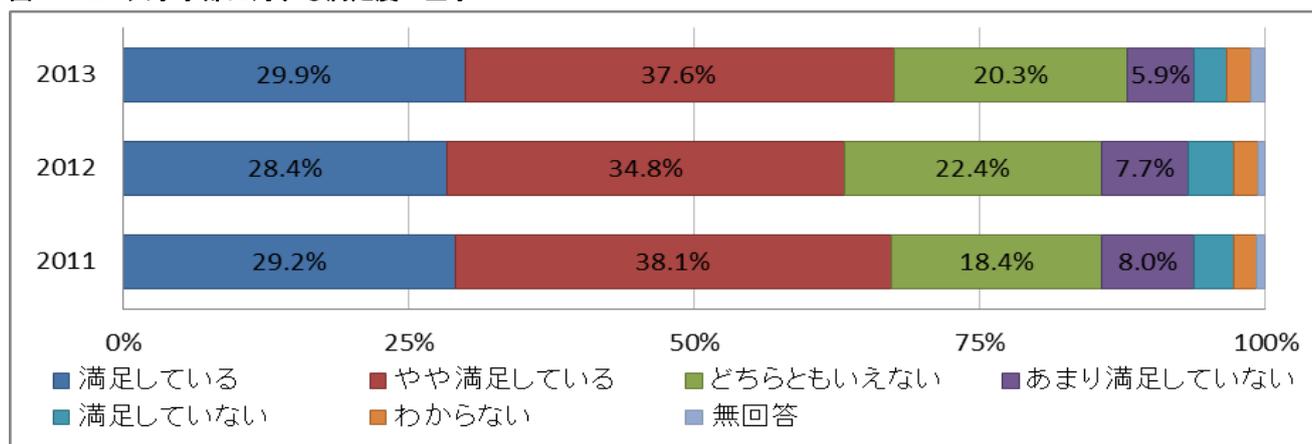
大学満足度は、2012年度と比べ、「満足している」（29.9%）が1.4%増加、「やや満足している」（43.0%）が3.6%増加しました。

図1.1.1 法政大学に対する満足度 全学



学部に対する満足度（「満足している」と「やや満足している」の合計、以下同様）は67.5%で、2012年度（63.2%）に比べ4.3%増加しました。

図 1.1.2 入学学部に対する満足度 全学

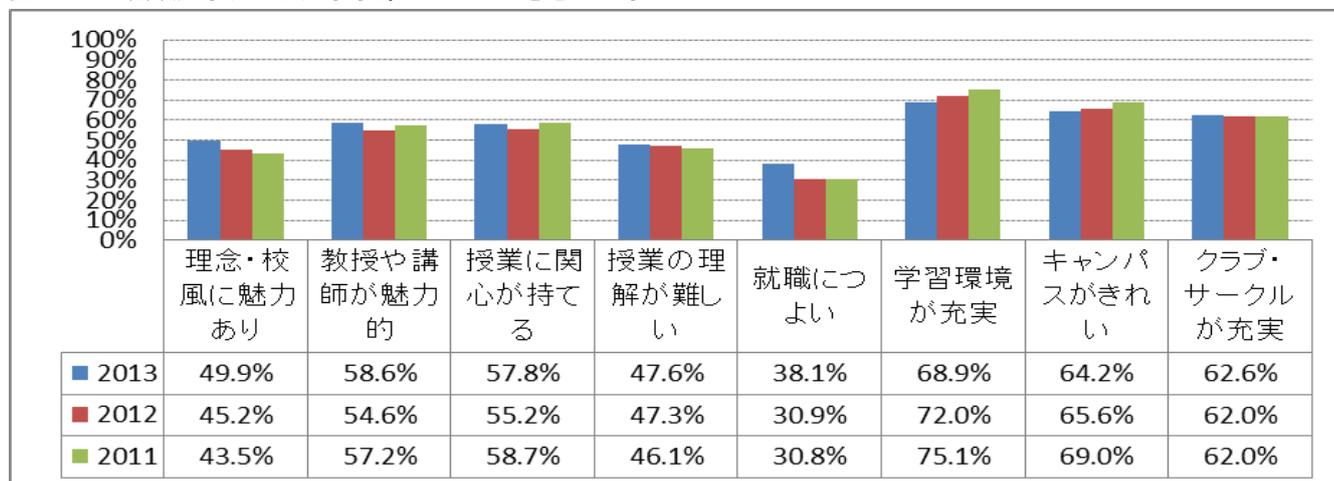


## 1.2 法政大学および入学学部について

図 1.2.1 は「現時点で、法政大学（および入学学部）についてどのように感じていますか」に対する回答（「そう思う」と「いくらかそう思う」の合計）です。①「理念や校風に魅力がある」、②「教授や講師に魅力的な人がいる」、③「授業に関心がある」、④「授業の理解が難しい」、⑤「就職に強い」、⑥「図書館などの学習環境が充実している」、⑦「キャンパスがきれいである」、⑧「クラブやサークル活動が充実している」の 8 項目について質問しました。

「授業の理解が難しい」と感じる学生について昨年度同様上昇が続いています（46.1→47.3→47.6）。「就職につよい」と感じる学生は昨年度から 7.2%上昇していますが、昨年度までと同様 4 割を切っており低い割合を示しています。

図 1.2.1 法政大学および入学学部についての感想 全学

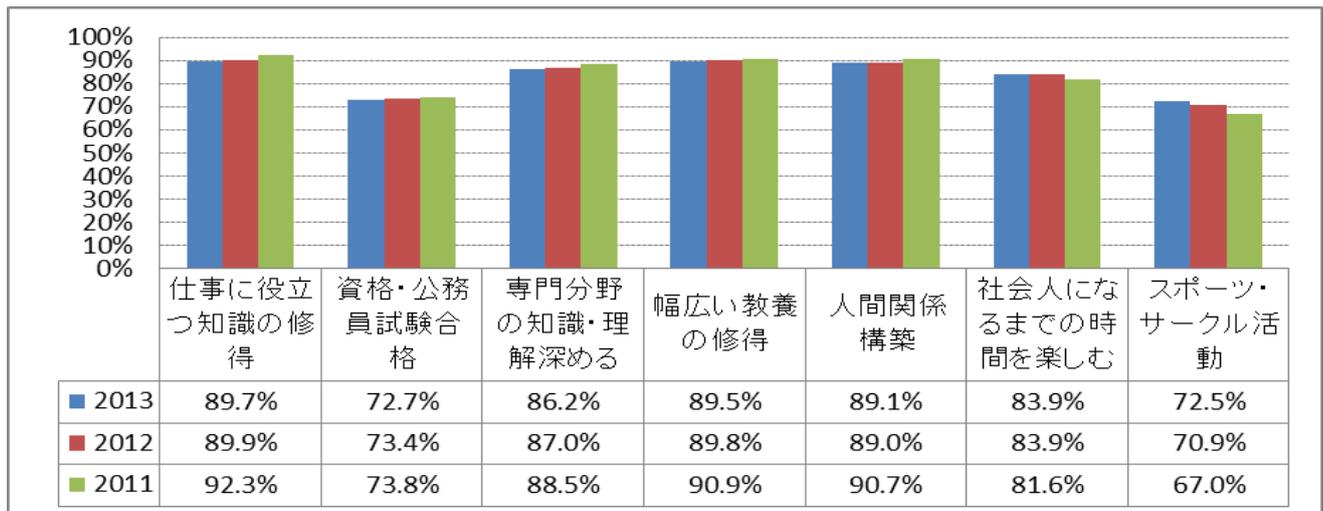


## 1.3 大学在学中の目標

図 1.3.1 は「大学在学中の目標として、どのようなことが重要ですか」との質問に対する回答（「重要である」＋「いくらか重要である」）です。①将来の仕事に役立つ知識を身につける、②資格試験・公務員試験などに合格する、③専門分野の知識・理解を深める、④幅広い教養・ものの見方を身につける、⑤有意義な人間関係を築く、⑥社会人になるまでの時間を楽しむ、⑦スポーツ・サークル活動に力を入れる、の 7 項目について質問しました。

全体的な傾向は 2012 年度と同様でした。項目別では 2012 年度同様、「将来の仕事に役立つ知識を身につける」（89.7%）が最も多く、「広い教養・ものの見方を身につける」（89.5%）、「有意義な人間関係を築く」（89.1%）、の順となりました。経年比較では、「スポーツ・サークル活動に力を入れる」が 3 年連続の増加となりました。

図 1.3.1 大学在学中の目標 全学



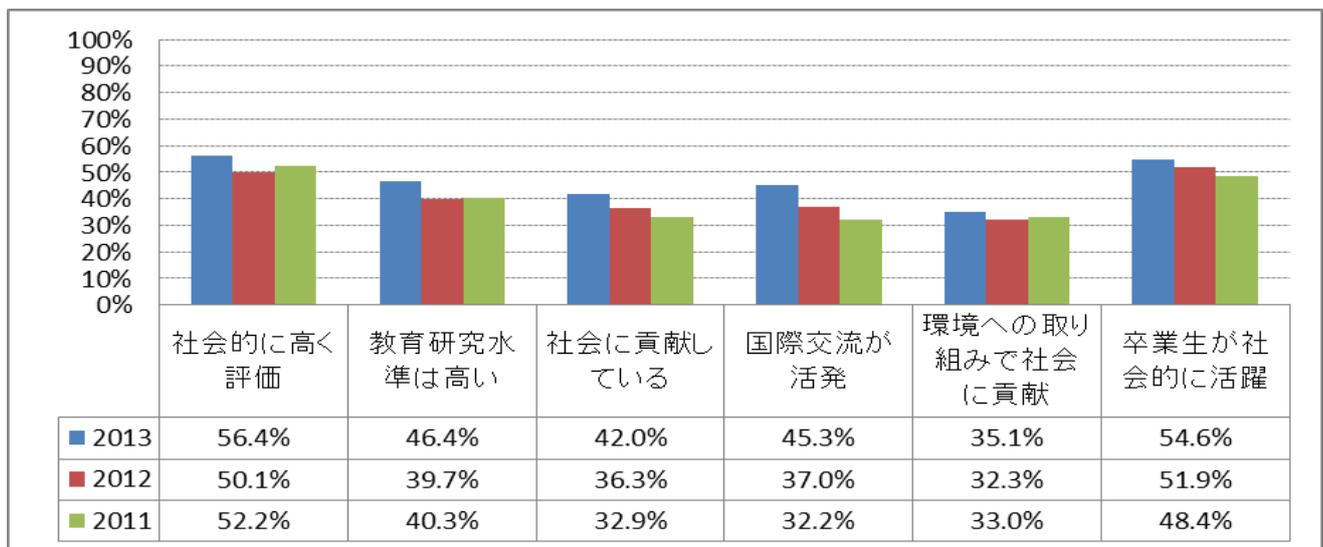
#### 1.4 法政大学の評価（イメージ）

図 1.4.1 は、「法政大学は社会からどのように評価されていますか」の質問に対する回答（「そう思う」＋「いづらかそう思う」の割合）です。①社会的にも高く評価されている、②教育研究水準は相対的に高い、③教育研究を通して社会貢献に貢献している、④国際交流は活発である、⑤環境への取組を通して社会貢献に貢献している、⑥卒業生は社会的に活躍している、の6項目について質問しました。

肯定的回答は、「社会的にも高く評価されている」（56.4%）が最も高く、次いで「卒業生は社会的に活躍している」（54.6%）でした。

経年比較では、「社会に貢献している」、「国際交流が活発」、「卒業生が社会的に活躍している」の各項目が3年連続で上昇しています。

図 1.4.1 法政大学のイメージ 全学

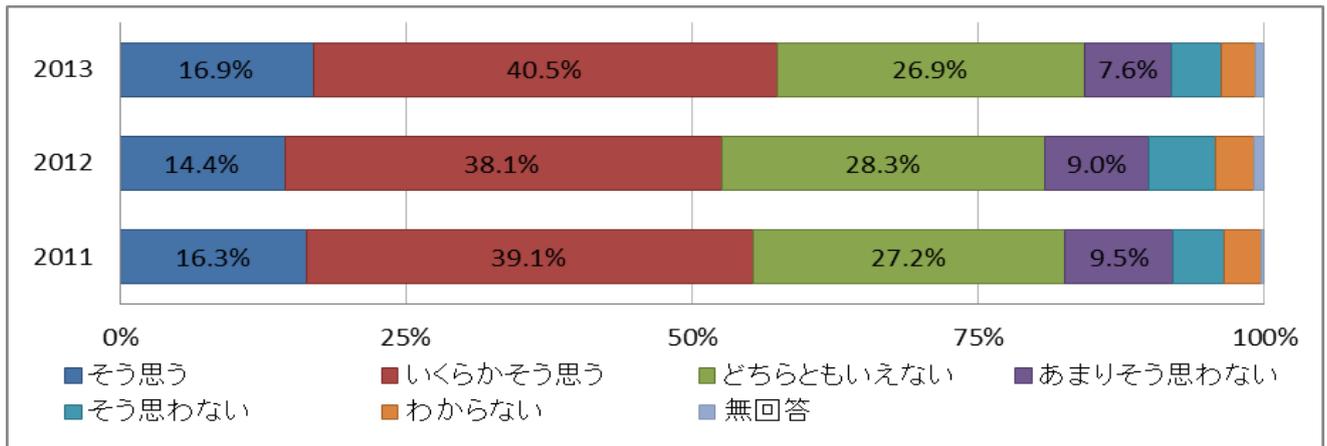


#### 1.5 法政大学を勧めたいと思うか

図 1.5.1 は、「もし身近に四年制大学への進学希望者がいる場合、法政大学を勧めたいと思いますか」の質問に対する回答です。

肯定的回答は 57.4%であり、2012 年度（52.5%）に比べ 4.9%増加しました。

図 1.5.1 法政大学を勧めたいか 全学



以上